

○目的

認知症支援に関わる多様な職種や支援者が認知症の基礎的な理解を深めるとともに、認知症の人や家族が必要とする支援を関係者相互の視点を理解しつつ、連携し提供できるようになる。

○従来の研修会の課題

内容が難しい、現場で使いづらい

○介護や医療現場での課題

- ・介護サービス事業所職員等、専門職であっても認知症の知識が不十分との声あり。
- ・業務が多忙で、研修の時間がなかなか取れない。

○目指したいところ

認知症の基本的な知識をもとにした、対応力向上や多職種連携

認知症の方の生活を支えるために

<基礎編> 令和3年度実施

- ・生活障害としての認知症を知る
- ・自分以外の職能が持つ視点を知る
- ・認知症の人と家族が求める支援を知る

<応用編> 令和4年度以降実施

- ・生活障害を抱えた認知症の人への対応ができる
- ・家族の気持ちを理解し、支えることができる
- ・多職種によるチーム支援ができる

○今後研修で取り上げてほしい内容

(令和3年度認知症多職種協働研修アンケート一部抜粋)

- ・具体的な事例
- ・認知症の方に対する接し方
- ・行動心理症状がなぜ起こるのか
- ・家族支援や家族との連携の取り方

【令和4年度認知症多職種協働研修(案)】

日時:令和5年2月以降

手法:オンデマンド配信

内容:基礎編を踏まえた認知症の人や家族への支援について、4コマ漫画の事例を本人視点を盛り込みながら、様々な専門職が対応を共有する。

職能の強みをお互いに理解することでチーム支援につなげる。

流れ:①広報いさはやの4コマ漫画の認知症の症状を事例として活用する

②認知症専門医より、認知症の病態から見た本人や家族への関わり方について専門職へ助言を行う

③助言をもとに、専門職が認知症の本人や家族への対応について意見交換する

